



神戸大学山岳会・山岳部について
The Alpine Club of Kobe University

Since 1915

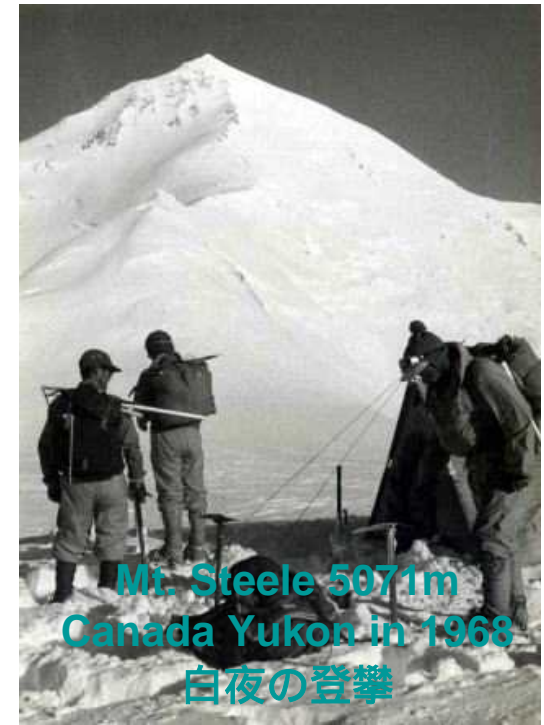
Sherpi Kangri 7380m from TBC 4850m near 2nd Ice Fall, 1976)

神戸大学山岳会について




- 神戸大学山岳会は神戸大学山岳部の卒業生ならびに関係者にて構成された団体です。
- 山岳部の歴史は古く1915年に神戸高商山岳部として発足、1958年パタゴニア探検隊アレナレス峰初登頂、1976年カラコルム遠征隊シェルピカンリ7380m初登頂、1986年チベット学術遠征隊ク - ラカンリ7554m初登頂、など遠征の足跡を世界の各地に残して今日に至っております。
- 未知への挑戦を現在も求めて次なる目標を求めて活動を続けています。

海外遠征の歴史

- 1915 神戸高商山岳会発足
- 1934 第一次台湾遠征 隊長田中薫
- 1936 第二次台湾遠征 隊長田中薫
- 1958 ハトコニア探検隊アレクス峰3437m初登頂
隊長田中薫 副隊長高木正孝
- 1960 刊中央アンデス探検隊神戸峰初登頂隊長太田直之
- 1963 台湾山岳学術調査隊 玉山 隊長田中薫
- 1963 ホリア・アンデス探検隊 隊長金井健二
- 1968 カタ・ユコン学術登山隊 隊長中西哲
- 1970 アタカマ高地探検隊 金井良碩参加
- 1974 第一次カラコルム遠征隊 隊長 田中俊甫
- 1976 第二次カラコルム遠征隊シェルピ・カンリ峰7380m初登頂 隊長平井一正
- 1980 リモ山群偵察隊,隊長中川勝八郎,右田卓遭難死
- 1983 ネパール・ヒマラヤ合宿 リタ - 長谷川浩
- 1985 チベット学術登山隊クラー・カリ偵察隊 隊長緒方俊二
- 1986 チベット学術登山隊クラー・カリ峰7554m初登頂 隊長平井一正
- 1988神戸大学中国地質大学(武漢)合同登山隊チエル - 山6168m初登頂 隊長北口博教
- 1991 京都大学梅里雪山遠征 船原尚武参加、遭難死
- 2002 カリガルホ山群ルオニイ峰6882m偵察隊隊長北口博教
- 2003 カリガルホ山群ルオニイ峰登山隊(敗退)隊長平井一正
- 2007 カリガルホ山群アタ氷河偵察隊・隊長山田健
- 2009 神戸大学・中国地質大学(武漢)合同カリガルホ山群学術登山隊
ロプチン峰Lopchin Feng (KG-2, 6805m)初登頂・隊長井上達男



未踏峰の初登頂

1958年	<p>パタゴニア探検隊 隊長: 田中 薫 Patagonia Expedition led by Kaoru Tanaka</p>	<p>アレナレス峰Cerro Arenales 3437m初登頂 高木正孝副隊長、円満字正和他在が登頂。 The first ascent of Cerro Arenales 3437m</p>	
1960年	<p>チリ中央アンデス探検隊 隊長: 太田 直之 Cilli Andes Expedition led by Naoyuki Ohta</p>	<p>神戸峰Cerro Kobe 5008m初登頂 2月12日 豊田寿夫 クルト・クラウセン(Kurt Claussen) の二人は南西にあるクエルノ・ブランコ (Cuerno Blanco5030m登頂後処女峰である Cerro Kobeを目指して登頂、ビバ - ク後帰 還した The first ascent of Cerro Kobe 5008m</p>	
1976年	<p>第二次カラコルム遠征隊 隊長: 平井 一正 2nd Karakoram Expedition led by Kazumasa Hirai</p>	<p>シェルピ・カンリSherpi Kangri 7380m 初登頂 8月10日 西稜6750mのACを出発した緒方俊治・井上 達男の二人はキャンプ頭上の岩壁を突破し 順調に高度を稼いで山頂に立った The first ascent of Sherpi kangri 7380m</p>	

未踏峰の初登頂

1986年	<p>チベット学術登山隊 隊長:平井 一正 Tibet Scientific and Mountaineering Expedition led by Kazumasa Hirai</p>	<p>ク - ラ・カンリKula Kangri 7554m 初登頂 4月21日 居谷千春・坂本淳・尾崎久純・大谷映芳の4人が頂上に立った。 翌4月22日、森長敬・長谷川浩が引き続き登頂 The first ascent of Kula Kangri 7554m</p>	
1988年	<p>神戸大学・中国地質大学(武漢) 合同登山隊 隊長:北口 博教 Kobe Univ. and China Univ of Geosciences(Wuhan) Joint Expedition led by Hirokazu Kitaguchi</p>	<p>雀児山(チェル - 山)Que-er shan 6168m 初登頂 The first ascent of Mt. Que-er Shan 6168m 日中隊員多数が登頂</p>	
2009年	<p>神戸大学・中国地質大学(武漢) 合同 カンリガルボ山群学術登山隊 隊長: 井上達男 中国側隊長:董範 Kobe Univ. and China Univ of Geosciences(Wuhan) Joint Kangri Garpo Mtns. .Scientific and Mountaineering Expedition led by Tatsuo Inoue & Dong Fan</p>	<p>ロプチン峰Lopchin Feng (KG-2) 6805m初登頂 11月5日、7日、徳慶欧珠、次仁旦塔、矢崎雅則、近藤昂一郎が登頂 The first ascent of Lopchin Feng, Tibet, China Nov 5th and 7th ,Deqing Ouzhu, Ciren Danda, Masanori Yazaki and Koichiro Kondou made the summit climbing</p>	

歴代山岳部部長・山岳会会長

1929 山岳部部長 平井泰太郎

1943 山岳部部長 川上太郎

1953 山岳部部長 高木正孝

1954 山岳会創設 山岳会会長 田中薫

1962 山岳部部長 川上太郎(高木部長逝去) 山岳会会長 小橋馨

1965 山岳部副部長 中西哲、山岳部副部長 平井一正

1966 山岳部部長 西村勝比古

1974 山岳会会長 田中薫 (小橋会長逝去)

1977 山岳部部長 中西哲

1981 山岳会会長 円満字正和

1986 山岳部部長 平井一正

1989 山岳部副部長 北口博教 顧問 横山千秋

1995 山岳部部長 乙藤洋一郎*

1996 山岳会会長 平井一正

2006 山岳会会長 井上達男*

2009 山岳部副部長 山形裕士*

* 現体制

神戸大学 過去の遭難 (死亡事故)

(1) 1950年4月3日	八巻 建彦(やまきたけひこ) (神戸大学神戸工専山岳部)
燕岳より槍ヶ岳へのポーター展開中、赤岩岳付近で雪崩により二の俣谷へ流される。詠村隆(えいむらたかし、灘高山岳部)も死去	
(2) 1953年8月8日	中川 健治
夏合宿中、北岳バットレス第二尾根で滑落後麻ザイル切断のため転落	
(3) 1956年4月4日	下津実
北鎌尾根より穂高へのポーター撤収中、北鎌尾根末端付近で天上沢へ滑落	
(4) 1956年12月22日	岸本 卯三郎(うさぶろう)
前穂北尾根4峰正面壁冬季初登攀を目指した。奥又白谷を登行中、松高ルンゼからの雪崩に埋没(同パーティー大阪府大 裏野満も死去)	
(5) 1958年3月28日	青木 秀哉(ひでや)、山内 純二(やまのうち)
春合宿中、北穂滝谷クラック尾根登攀中転落(ナイロンザイル切断)	
(6) 1966年3月24日	石川匡(ただし)
春合宿中、双六岳より槍ヶ岳アタック中、西鎌尾根より水鉛谷へ滑落	
(7) 1980年8月6日	右田卓(たかし)
東部カラコルム リモ峰偵察中、ロロフォンド氷河にてヒドンクレバスに転落	
(8) 1988年11月26日	天野 弘善(ひろよし)
アイゼン合宿中、御岳三の池にて、猛烈な風雪のため避難中の雪洞で埋没	
(9) 1991年1月3日or4日	船原 尚武(しょうぶ)
中国雲南省梅里雪山の初登頂を目指していた京都学士山岳会登山隊に参加、C3にて夜中、雪崩に埋没(同時に17名遭難)	

Safe Climbing

Safety is a value!!